

(様式 4)

平成 23 年度 日 立 市 教 育 研 究 会 先 進 校 等 調 査 派 遣 研 修 報 告 書

日 立 市 立 坂 本 小 学 校 教 諭 林 田 泰 秀

- 1 派遣期日 平成 23 年 10 月 14 日 (金)
- 2 研修先 学校名 (会場名) 千葉県八千代市立西高津小学校
所在地 千葉県八千代市高津 832-38
http://www. fnisitaka@yachiyo.ed.jp

3 研修内容

八千代市立西高津小学校 第 27 回 体育公開研究会

研究主題「よりよい体育授業の創造」～できる・わかる・かかわる体育を目指して～

(1) 西高津小学校研究の重点

① 「できる」「わかる」「かかわる」体育の研究

西高津小学校では、新学習指導要領体育科の目標を達成するには、「運動の楽しさを味わわせる」「わかった、できた喜びを味わわせる」「運動を楽しむために必要な基礎感覚を身につけさせる」「仲間との好ましい人間関係を作っていく」等のことが必要であると考え、研究に取り組んでいる。「できる」喜び、「わかる」楽しさ、「かかわる」喜びや楽しさを味わわせる生涯体育へ向けて、「できて、わかって、かかわる」ことを体育の学力として捉え、「できる」「わかる」「かかわる」体育学習を研究の中心として位置づけていた。

○研究の方法

- ・できる喜びを味わわせるための教師の手だてと工夫
- ・わかって (知的に理解し) それを生かせる教師の手立てと工夫
- ・仲間との関わりを重視した活動の工夫・改善

【三位一体研究】

「生涯体育」

↑
生涯にわたって運動を楽しむ資質
↑
運動を楽しむ経験
↑

「できる」身体能力の育成 (体力 + 技能の育成)

- 集中的に力を発揮する身体能力
- 持続的に力を発揮する身体能力
- 柔軟性を発揮する身体能力
- 巧みに身体を動かす身体能力

「わかる」思考・判断の育成
知識・理解

- イメージを持つ
- わかる
- 知る
- 気づく
- 学び方

「かかわる」態度の育成
(社会的態度・学び方の態度育成)

- ルール・マナーを守ること
- 態度を互いに認めあえること
※学び方の態度
- 姿勢を正して話を聞き取ること
- 聞き取ったことができること
- 仲間と協力して活動できること

(参照 体育の学力のイメージ構造 高橋健夫氏)

② 指導要領に基づいたスタンダードの定着

スタンダードを設定し、その 70～80% またはそれ以上の子どもたちにスタンダードの定着を図る。そのために、教師の指導方法を授業研究や実技研修を通して研究している。「基礎感覚学習」で、子どもたちが本能的にもっている身体感覚を呼び起こし、スタンダードにつながる感覚づくりを養う。「基礎を高める学習」では、技能ポイントを系統的に把握し、友だちと関わりながら、スタンダードの習得を図っている。

【中・高学年器械運動 単元計画モデル】

オリエンテーション ・実態調査 ・基礎感覚学習	基礎感覚学習 ・器械運動に必要な基礎感覚を身につける		学習のまとめ
	基礎を高める学習Ⅰ ・スタンダードの習得	基礎を高める学習Ⅱ ・できる技を高める	
		挑戦学習 ・できそうな技に挑戦する	

③ 体育の生活化、日常化を図る

- ・行間体育の充実

体づくり運動を毎日取り入れ、体力の向上を図っている。また、なかよし業間による、異年齢での運動・遊びを週2回位置づけることにより、高学年のリーダシップ、子どもの自主性を育てている。

- ・朝運動・昼休みの活用、総合的な学習の時間や学級活動との連携

(2) 公開授業参観

① 基礎感覚学習

基礎的な感覚を養うために、どの授業においても、始めにスタンダードに示された技能の習得を目指し、基礎感覚学習を位置づけていた。丁寧に感覚作りを行っているので、自信をもって、意欲的に基礎を高める学習へと進むことができていた。その結果、鉄棒運動では、3年生がこうもり振り降りを身に付けている児童が多くいたり、5年生が後方両膝かけ回転からこうもり振り降りができたりして、その技能の高さに驚かされた。

② 単元計画と評価計画、学習指導案

単元計画の中に、基礎感覚学習や基礎を高める学習、挑戦学習の「できる」「わかる」「かかわる」に関する目標や評価計画があり、それに基づく支援のあり方も学習指導案に示され、個に応じた適切な指導がされていた。

【4学年器械運動 単元計画と評価計画（単元目標を達成するために）】

		本時のねらい できる（◇）わかる（□）かかわる（●）	評価計画 評価（○）その他（・）
ステップⅠ	1	●用具の安全な運び方や学習の進め方を知る。 □自分のできる技を知り、学習の見通しとめあてをもつ。 ◇基礎感覚学習の取り組みを知り、技能ポイントを意識して運動する。	○学習の進め方がわかったか。（わかる） ○学習の約束を守り、友だちと協力して活動できたか。（かかわる） ○技能ポイントがわかり、意識して運動することができたか。（できる）

【4学年器械運動 学習指導案】

時配	学習活動と内容	指導（○）と評価（◆）	資料・用具
10	3 基礎を高める学習をする 台上前転を自分の力に合わせためあてで練習しよう。 ○台上前転（4段～6段） ・両足で強く踏み切る ・腰を高く ・背中を丸めて	◆基礎感覚学習で行ったポイントを意識しながら、取り組むことができる。（わかる・できる） ◆自分や友だちのめあてに対して、助言や評価をすることができる。（かかわる）	学習カード セーフティーマット 小マット ロールマット

4 感想

今回の研修で「できる・わかる・かかわる体育」を目指した授業の創造に取り組む八千代市立西高津小学校の体育公開研究会に参加する機会を得て、長年研究された授業の成果を参観することができ、大変勉強になった。

新学習指導要領では、身に付けさせたい内容に向けて、発達段階に応じた指導内容の明確化・体系化が図られた。今回の授業では、改善を加えた領域ごとに学年のスタンダードが設定され、6年間の学習が系統的に設定されていた。運動する喜びや楽しさを味わわせるためには、発達段階に応じた、指導内容の確実な定着を図る手だての重要性を感じた。今回の研修で学んだことを、今後の授業実践に生かしていきたいと思う。